

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1494100033	事業の開始年月日	平成19.10.1
		指定年月日	平成19.10.1
法人名	医療法人社団昌栄会		
事業所名	グループホーム あいち		
所在地	(〒252-0011)		
	神奈川県座間市相武台1-11-5		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成28年1月22日	評価結果 市町村受理日	平成28年6月3日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

運営法人は、24時間緊急体制の病院を運営している医療法人であり、利用者の容態急変や重度化した場合も安心して医療の提供が受けられます。建物内部は木造りで、明るく清潔感があり、温かみのある空間となっています。全館バリアフリーで、オール電化を取り入れ、防火設備も整い安全です。職員は殆ど常勤であり、教育、防災、環境、行事、広報、虐待・身体拘束防止等の委員会制度があり、責任を持って役割任務を行っております。季節の行事を取り入れ、可能な限り外出や散歩も行っております。また、入居者様の希望を取り入れる希望実現制度や入居者会議も定例で行っており、入居者様の希望や要望を出来るだけ取り入れる努力もしております。自立支援を心掛け、掃除、洗濯、調理、花壇の手入れ等ホームでの日常の生活を出来る限り入居者様に行って頂くようにしております。また、レクリエーションでは心身の活性化を図り、入居者優先の理念を掲げ、職員も内外の研修に参加し、入居者様の生活をより豊かにする支援を心掛けております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成28年2月29日	評価機関 評価決定日	平成28年5月24日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業者は小田急線相武台前駅から徒歩12分位の幹線道路から入った静かな住宅地にある。母体の相武台病院は徒歩1分程の立地であり、医療面でサポートをしている。付近にはファミリーレストラン、スーパーマーケット、コンビニエンスストアなどが立ち並び外食や買い物に出かけやすい場所にある。</p> <p>【理念とその取り組み】 理念は「愛し愛されるグループホーム」、「そのままのあなたでいいのです 私はあなたの味方です」、「生活（いき）返り支援を目指します」である。特に「生活返り支援を目指します」に重点を置いている。 日常生活を通して認知症の改善に取り組み、掃除、洗濯、お茶入れ、ゴミ捨て、花壇の手入れなど生活上の活動やコグニサイズ、体操、脳トレ、トランプ、歌を歌うなどレクリエーションを毎日行っている。訪問時は、皆で野菜の皮むきをしたり、人参を包丁で切るなど職員と会話しながら食事作りをしていた。このような活動を通じて利用者が生活の中の居場所を見つけ、活性化できるように支援している。</p> <p>【地域との関係】 北相武台自治会に加入している。総会や草取りなどに利用者も参加している。事業所の納涼祭には近隣の方5～6名の参加があり、防災訓練にも協力してもらった。また、利用者の顔や名前を憶えてくれているので、散歩時には名前を声にかけてくれる。行事の際はオカリナ、フラダンスなどのボランティアが訪れ楽しませてくれるほか、不定期に、傾聴や歌などのボランティアも受け入れている。</p>
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム あいち
ユニット名	ひかり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念とユニット理念を掲げており、リビング等に掲示し、会議等で確認し、理念共有を図っています。職員は利用者優先を念頭に置き、支援しています。	理念は玄関、リビングに掲げ、職員はユニット会議等で確認している。理念は3項目あり、特に「生活（いき）返り支援を目指します」に重点を置き、食事作りなど生活全般を利用者が行い職員は見守るようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、地域清掃、総会、盆踊り等に参加させて頂いています。事業所主催の防災訓練、救急救命講習会、納涼会に地域の方もご参加頂き、ボランティアとして訪問して下さる方もいます。	利用者も自治会の総会や草取りなどに参加している。納涼祭には近隣の方5～6名の参加があった。近隣の方は利用者の名前を憶えてくれているので、散歩時などに声をかけてくれる。傾聴や歌などのボランティアの訪問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時地域の方からの介護や認知症に関わる相談に応じています。また、運営推進会議には、自治会長にご参加頂き、事業所の取組を理解して頂き、地域貢献に繋げています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催しており、自治会長、民生委員、地域包括支援センター、市職員、母体病院の事務長、利用者、ご家族にご参加頂き、事業所の現況報告を行い、意見交換を行っています。	運営推進会議は年6回定期的に行われている。事業所の取り組みや外部評価などについて報告している。前年は職員不足が課題になっていたが解消している。参加者から非常時の備品などについて助言を受け、運営の参考になっている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	座間市へは業務上の報告や相談を通し、指導や助言を受け連携しています。市主催の講習会、勉強会にも職員が参加させて頂いています。	座間市介護保険課に運営推進会議録を持参している。何かあれば相談できる関係を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会を設置し、拘束のない介護を確認しています。症状が重い方でも工夫し、見守り対応を行っています。各ユニットは開放構造ですが、玄関は安全確保の為、やむをえず手動施錠しています。	身体拘束のマニュアルがあり、27年11月に身体拘束排除の取り組みを全体研修で実施した。利用者はユニット間を自由に行き来している。玄関は施錠されているが利用者の希望により外出している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設け、虐待防止の徹底に努めており、内外研修においても再確認を行なっています。会議では虐待が見過ごされることがない様、話し合いの場をもっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、成年後見制度等の権利擁護について学び、必要な利用者には、それらを活用できるように支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、管理者は事業所の重要事項、理念、看取り、対応可能な範囲等、納得のいく説明を心掛けています。利用者やご家族の不安や疑問点にも十分な説明を行い、理解・納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者会議を開催し、利用者の意見や要望を運営に活かすようにし、ご家族には来所時に意見を伺い、目安箱の設置も行っています。家族懇親会は年1回行っており、ホームの様子をお伝えし、ご家族の希望や意見を伺い、運営に反映しています。	家族は運営推進会議や家族懇親会で意見を言う場がある。家族来所時には声をかけて意見を聞いている。「入居者会議」で利用者から話を聞いている。利用者の個別の希望を叶える「希望実現制度」があり、制度を利用して日帰り温泉などに出かけた方もいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回のユニット会議で、運営や業務についての職員の意見や提案を聞くように努めています。年2回の個人面談及び日常的にも職員の意見を聞き、職員の提案を運営面で実行に移しています。	月1回のユニット会議で職員の意見を聞いている。防災、行事など7つの委員会があり、職員はいずれかの委員会に属し、活動している。カンファレンスでは、事前に書面で意見を提出できる仕組みがある。個々の「情報提供カード」を作成し、個別でファイルしているが、職員から緊急時にすぐ持ち出せるよう、一括保管の提案があり実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は年2回の人事考課提出時に、職員の個々の実績、勤務状況等を把握するように努めており、日常的にも、職員が向上心を持って働けるよう処遇改善、職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員へ積極的に外部研修への参加を促し、新人研修、内部研修の充実を図り、介護福祉士、介護支援専門員の資格取得への奨励も行っています。 また、介護職員初任者研修への全面的な受講料支援も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	座間市グループホーム連絡協議会の一員として、隔月の会議に参加し、同業者と意見交換を行い、サービスの向上に努めています。その中で、相互訪問研修を行い、職員間の交流も行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅や病院に訪問し、本人と面談し、要望や不安に耳を傾け、不安のない様に努めています。また、可能な限り、入所前に本人にホームへ来て頂き、信頼関係を深めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前面談やホームへの見学、契約時にご家族の困り事、不安、要望等に耳を傾け、ご家族に安心して頂ける様、関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で、ご本人やご家族がその時必要としているサービスを見極め、他のサービスが必要な場合は、そのサービスに繋げる対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩である利用者から、職員は昔の文化、知恵等、多くの学びを得ています。職員は利用者から励ましの言葉を頂くことも多く、お互いを支え合う存在となっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の存在は大きく、ご本人とご家族の絆を大切に、様々な場面でご家族と相談しながら、ご本人の支援をしていく努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員は利用者が馴染みの飲食店や図書館へ行く支援を行っています。利用者の友人、知人の来所時はお茶を提供し、歓談の場を設けています。携帯を所持し、ご家族と連絡を取っている方もいます。	知人、友人の訪問があった際には職員が対応し、居室やリビングで談笑している。馴染みの美容室、床屋などに行ったり、年賀状の投函や携帯電話の所持を支援している。図書館を利用している利用者には、職員が同行している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、利用者同士の関係性を把握し、利用者同士が共に良い関わり合いができる様、また、孤立することのない様、常に見守り、支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設や病院へ退所後も、ご本人やご家族の経過をフォローし、相談に応じ、支援に努めています。また、必要に応じて、ご本人へ面会も行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は日頃から利用者とコミュニケーションを密にして、希望や意向の掌握に努め、個別対応で買物等の同行も行っています。また、難しい場合は、行動や表情からも意向を汲み取るようにしています。	月1回の入居者会議で「どこに行きたいか」など意向を聞いている。思いを言葉にしづらい方は何気ない話や表情などから汲み取っている。把握した情報は送りノートで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前面談で、ご家族や入居者からこれまでの生活歴、生活環境、サービス経過等の掌握に努め、ホームでの生活に活かすようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は、一人一人の入居者の現状を把握する為、見守りを欠かさず行っています。また、毎月の個別検討会議で、利用者の現状把握を行い、全職員で共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居当初は、自宅等で把握した基本情報を基に、支援の概要を作成しており、通常は担当者会議を行い、介護計画を作成し、ご家族へ説明し、同意を得ています。モニタリングは毎月行い、随時見直しをしています。	サービス担当者会議は利用者、家族だけでなく必要な方にはマッサージ師も参加して開催している。介護計画は医師、看護師の意見も反映している。介護計画の見直しは、入居時は2カ月位、その後は6か月に1回を原則とし、状況に変化があった時は随時行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人一人の個人記録と経過記録をつけており、情報の共有を図っています。個人記録には、介護計画の実施状況欄もあり、介護計画の見直しも行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員は入居者のその時の状況に合わせて、横になって休んで頂いたり、買物や散歩に同行したり、柔軟な対応を行っています。また、個人の希望を取り入れる取り組みも行っていきます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員は、利用者と地域の図書館を利用し、スーパーへの買物、散策、草むしり、盆踊り等、地域資源を把握し、楽しめる支援を行っています。また、地域のボランティアさんも訪問してくれています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は、協力病院の医師が月1回、訪問看護師が適宜、歯科医が月2回来所し、診療情報は個別に記録し共有しています。希望のかかりつけ医があればご家族対応で受診してもらっています。	眼科などのかかりつけ医を受診している方がおり、協力医以外の受診は家族が対応している。受診の結果は送りノートで家族と共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は利用者の様子を、看護師に伝え、相談すると共に、変化のあった時は速やかに連絡し、利用者が適切な受診や看護を受けられる様に協働しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院及び他医療機関に入院した場合も、医師、看護師、相談室と連携を取り、情報を交換し、早期に退院できる様努力しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行わない方針で、入居時にご家族・利用者に書面で説明し、同意を得ています。医師が医療が必要と認めた場合は、協力病院への入院紹介を行っています。	「重度化した場合の対応に係る指針」があり入居時、家族に説明し同意を得ている。医師に委ねるまでは出来る限り事業所で支援をするようにしている。重度化した場合の対応についての研修は未実施である。	利用者の急変時に備えて、重度化対応の研修を行うことが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回、消防署の協力を得、自治会の方にもご参加頂き、利用者も交え、救急救命講習会を実施しています。また、内部研修で、急変時や事故発生時の対応の勉強会も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災委員が企画した防災訓練を隔月で実施しています。内1回は消防署の協力を得て、地域住民参加による訓練を行っています。防災備蓄は飲料水、米、非常食等をユニット毎に保有しています。	防災訓練は2カ月に1回、夜間想定を含め行っている。27年7月は消防署の協力を得て行い、近隣の方も2~3人協力してくれた。「座間市いっせい防災行動訓練」に参加した。水、カレー、缶詰など食品類を3日分備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から、利用者の尊厳を守り、敬意を持って言葉かけを行っています。申し送り等も部屋番号で行う等の配慮をしています。個人情報の書類は施錠できる書庫に保管しています。	入居者の尊厳を守るためには言葉かけが重要という方針で丁寧な言葉かけを心掛けている。管理者は職員に「自分にされたら嫌な事はしない」と伝えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者との関わりや会話を大切にし、利用者の思いを汲みとるように努力しています。また、自己決定できる様に、マンツーマンの対話を心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や行事、レクリエーション等もなるべく利用者の希望に添って行うようにしています。入浴時間等も、希望に添える様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	居室に鏡付きの洗面台があり、身だしなみが確認できるようになっています。難しい方は職員がその方らしいおしゃれが出来るよう、服の組み合わせ等工夫しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	専門業者にメニュー付き食材を配達してもらい、利用者職員と一緒に準備、食事、片付けを行なっています。外食や出前も利用しており、お楽しみランチや誕生会メニュー、行事食も取り入れています。	理念に基づき、生活上のことではできるだけ行ってもらう方針で、訪問時も、野菜の皮むきや千切りなど、全員が参加して食事作りをしていたユニットがあった。肉が苦手の方には魚を出すなど配慮している。職員も利用者と同席して和やかに食事をしてきた。月1回のお楽しみ昼食のメニューは利用者の意見を聞いて決め、皆で作っている。誕生日には本人の好みに応じて外食や出前を利用することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の献立は栄養士によるバランスのとれたものであり、食量や水分量は記録し、必要量を確保しています。お粥や刻み食、とろみ食の対応も行っていきます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、個々に応じたスポンジ、専用ブラシ、舌ブラシ等使い分けしています。定期的に歯科医師と歯科衛生士に訪問してもらい、口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし、トイレ表示は分かりやすくしています。難しい方は排泄チェック表を付け、声掛けや誘導を行っています。昼間は出来るだけ布の下着で過ごせる様支援しています。	排泄チェック表は必要な方のみ作成して活用している。昼間は原則布パンツを着用している。夜間はリハビリパンツを使ったり、昼間とパットの大きさを変えている。排泄に失敗してもさりげない声かけなどプライバシーに配慮して対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、オリゴ糖等を提供し、体操、散歩、家事等、身体を動かすよう働きかけています。水分摂取の支援を行うと共に、記録をつけ、予防に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	原則として週3回午後となっておりますが、時間等は柔軟に対応しています。空調設備やヒーターを使用し、ヒートショック対策をしています。菖蒲湯やゆず湯等で季節感も味わって頂いています。プライバシーに配慮し、脱衣所に仕切りカーテンを設置しています。	入浴チェック表があり、週3回の入浴を基本にしている。時間や回数は利用者の希望に合わせている。入浴を好まない方には無理強いしないで時間や対応する職員を変えるなど工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で横になったり、ソファでくつろげる様支援しています。夜間も安眠出来るよう、日中の活動にも気を配り、リネン、照明、温度、湿度の調節をこまめに行い、見守りを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の服薬情報をファイルしており、職員は内容を把握し、服薬時は二重の確認を行っています。症状の変化があった場合は、看護師及び医師に連絡するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者個々の状態に合わせて、生活の中で役割を担って頂いています。また、散歩、レクリエーション、嗜好品、楽しみごと等の個々の希望を聞き入れ、実現するようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望に合わせて散歩、買物、図書館等へ出かけています。寒い季節は廊下でリハビリ歩行もしています。ウッドデッキで日光浴することもあり、外食にも出かけています。特別な個々の希望外出は希望実現で対応しています。	毎日のように散歩に行っており、1日に2～3回行くこともある。足が痛いなど歩行が困難な場合は車椅子で散歩に行っている。法人の車を借りて全員で外食や初詣、いちご狩りに出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所で少額のお金を預かっており、必要品や希望の品を買えるようにしています。希望により、一緒に買物に行って、自分で支払う方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の理解が得られれば、自由に電話や手紙のやり取りが出来るよう支援しています。 携帯電話を所有し、使用している利用者也います。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は木の温もりがあり、明るく、バリアフリーや手すりにより安全性を確保しています。リビングは床暖房、エアコン、加湿器等の設備で快適であり、写真や季節の品々を飾っています。	リビングは窓が大きく明るい。床暖房になっており、加湿器を作動させている。壁面に写真コーナーや利用者の貼り絵などの装飾がある。訪問時は雛人形が飾ってあり、季節感があつた。温かみのある雰囲気になるように心がけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間のソファや玄関前の椅子、外のベンチ等で気の合った者同士過ごしています。また、1～2階のユニット間の出入りは自由に出来るようになっており、利用者同士友好を深めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の表示は分かり易く工夫されており、洗面台、カーテン、キャビネット、エアコン等整備されています。利用者は、仏壇、テレビ、整理ダンス、机、椅子、ラジオ、写真、植木、小物等を持ち込み、その方らしい居心地の良い部屋にしています。	居室入口の表示は花の名前や木目込み風の飾りなどユニットで変えている。利用者は仏壇、馴染みのダンス、机、テレビ、三味線、カレンダーなどを思い思いに持ち込んでいる。加湿器を使用しているが、好まない方は濡れタオルで代用している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部はバリアフリーで、利用者の状態に合わせ住環境の見直しを行っています。最近では、脱衣所の仕切りカーテンの導入、分かり易い掲示物の導入を行っています。		

事業所名	グループホーム あいち
ユニット名	あい

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念とユニット理念を掲げており、リビング等に掲示し、会議等で確認し、理念共有を図っています。職員は利用者優先を念頭に置き、支援しています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に加入し、地域清掃、総会、盆踊り等に参加させて頂いています。事業所主催の防災訓練、救急救命講習会、納涼会に地域の方もご参加頂いています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時地域の方からの介護や認知症に関わる相談に応じています。また、運営推進会議には、自治会長にご参加頂き、事業所の取組を理解して頂き、地域貢献に繋げています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催しており、自治会長、民生委員、地域包括支援センター、市職員、母体病院の事務長、利用者、ご家族にご参加頂き、事業所の現況報告を行い、意見交換を行っています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	座間市へは業務上の報告や相談を通し、指導や助言を受け連携しています。市主催の講習会、勉強会にも職員が参加させて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止委員会を設置し、拘束のない介護を確認しています。症状が重い方でも工夫し、見守り対応を行っています。各ユニットは開放構造ですが、玄関は安全確保の為、やむをえず手動施錠しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設け、虐待防止の徹底に努めており、内外研修においても再確認を行なっています。会議では虐待が見過ごされることのない様、話し合いの場もっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は、成年後見制度等の権利擁護について学び、必要な利用者には、それらを活用できるように支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、管理者は事業所の重要事項、理念、看取り、対応可能な範囲等、納得のいく説明を心掛けています。利用者やご家族の不安や疑問点にも十分な説明を行い、理解・納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者会議を開催し、利用者の意見や要望を運営に活かすようにし、ご家族には来所時に意見を伺い、目安箱の設置も行っています。家族懇親会は年1回行っており、ホームの様子をお伝えし、ご家族の希望や意見を伺い、運営に反映しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回のユニット会議で、運営や業務についての職員の意見や提案を聞くように努めています。年2回の個人面談及び日常的にも職員の意見を聞き、職員の提案を運営面で実行に移しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は年2回の人事考課提出時に、職員の個々の実績、勤務状況等を掌握するように努めており、日常的にも、職員が向上心を持って働けるよう処遇改善、職場環境の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員へ積極的に外部研修への参加を促し、新人研修、内部研修の充実を図り、介護福祉士、介護支援専門員の資格取得への奨励も行っています。また、介護職員初任者研修への全面的な受講料支援も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	座間市グループホーム連絡協議会の一員として、隔月の会議に参加し、同業者と意見交換を行い、サービスの向上に努めています。その中で、相互訪問研修を行い、職員間の交流も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅や病院に訪問し、本人と面談し、要望や不安に耳を傾け、不安のない様に努めています。また、可能な限り、入所前に本人にホームへ来て頂き、信頼関係を深めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前面談やホームへの見学、契約時にご家族の困り事、不安、要望等に耳を傾け、ご家族に安心して頂ける様、関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点で、ご本人やご家族がその時必要としているサービスを見極め、他のサービスが必要な場合は、そのサービスに繋げる対応を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩である利用者から、職員は昔の文化、知恵等、多くの学びを得ています。職員は利用者から励ましの言葉を頂くことも多く、お互いを支え合う存在となっています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の存在は大きく、ご本人とご家族の絆を大切に、様々な場面でご家族と相談しながら、ご本人の支援をしていく努力をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	職員は利用者が馴染みの飲食店や図書館へ行く支援を行っています。利用者の友人、知人の来所時はお茶を提供し、歓談の場を設けています。携帯を所持し、ご家族と連絡を取っている方もいます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、利用者同士の関係性を掌握し、利用者同士が共に良い関わり合いができる様、また、孤立することのない様、常に見守り、支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設や病院へ退所後も、ご本人やご家族の経過をフォローし、相談に応じ、支援に努めています。 また、必要に応じ、ご本人へ面会も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員は日頃から利用者とコミュニケーションを密にして、希望や意向の掌握に努め、個別対応で買物等の同行も行っています。また、難しい場合は、行動や表情からも意向を汲み取るようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前面談で、ご家族や入居者からこれまでの生活歴、生活環境、サービス経過等の掌握に努め、ホームでの生活に活かすようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は、一人一人の入居者の現状を把握する為、見守りを欠かさず行っています。また、毎月の個別検討会議で、利用者の現状把握を行い、全職員で共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居当初は、自宅等で把握した基本情報を基に、支援の概要を作成しており、通常は担当者会議を行い、介護計画を作成し、ご家族へ説明し、同意を得ています。モニタリングは毎月行い、随時見直しをしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人一人の個人記録と経過記録をつけており、情報の共有を図っています。個人記録には、介護計画の実施状況欄もあり、介護計画の見直しも行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	職員は入居者のその時の状況に合わせて、横になって休んで頂いたり、買物や散歩に同行したり、柔軟な対応を行っています。また、個人の希望を取り入れる取り組みも行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員は、利用者と地域の図書館を利用し、スーパーへの買物、散策、草むしり、盆踊り等、地域資源を把握し、楽しめる支援を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診は協力病院の医師が月1回、訪問看護師が適宜、歯科医が月2回来所し、診療情報は個別に記録し共有しています。尚希望のかかりつけ医はご家族対応で受診してもらっています。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員は利用者の様子を、看護師に伝え、相談すると共に、変化のあった時は速やかに連絡し、利用者が適切な受診や看護を受けられる様に協働しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院及び他医療機関に入院した場合も、医師、看護師、相談室と連携を取り、情報を交換し、早期に退院できる様努力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りは行わない方針で、入居時にご家族・利用者にご家族・利用者に書面で説明し、同意を得ています。医師が医療が必要と認めた場合は、協力病院への入院紹介を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回、消防署の協力を得、自治会の方にもご参加頂き、利用者も交え、救急救命講習会を実施しています。また、内部研修で、急変時や事故発生時の対応の勉強会も行っています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災委員が企画した防災訓練を隔月で実施しています。内1回は消防署の協力を得て、地域住民参加による訓練を行っています。防災備蓄は飲料水、米、非常食等をユニット毎に保有しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から、利用者の尊厳を守り、敬意を持って言葉かけを行っています。申し送り等も部屋番号で行う等の配慮をしています。個人情報の書類は施錠できる書庫に保管しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者との関わりや会話を大切にし、利用者の思いを汲みとるように努力しています。また、自己決定できるように、マンツーマンの対話を心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	散歩や行事、レクリエーション等もなるべく利用者の希望に添って行うようにしています。入浴時間等も、希望に添える様に支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	居室に鏡付きの洗面台があり、身だしなみが確認できるようになっています。難しい方は職員がその方らしいおしゃれが出来るよう、服の組み合わせ等工夫しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	専門業者にメニュー付き食材を配達してもらい、利用者と職員と一緒に準備、食事、片付けを行なっています。外食や出前も利用しており、お楽しみランチや誕生会メニュー、行事食も取り入れています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の献立は栄養士によるバランスのとれたものであり、食事量や水分量は記録し、必要量を確保しています。お粥や刻み食の対応も行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、個々に応じスポンジ、専用ブラシ、舌ブラシ等使い分けしています。定期的に歯科医師と歯科衛生士に訪問してもらい、口腔内の清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし、トイレ表示は分かり易くしています。難しい方は排泄チェック表を付け、声掛けや誘導を行っています。昼間は出来るだけ布の下着で過ごせる様支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、オリゴ糖等を提供し、体操、散歩、家事等、身体を動かすよう働きかけています。水分摂取の支援を行うと共に、記録をつけ、予防に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	原則として週3回午後となっていますが、時間等は柔軟に対応しています。空調設備やヒーターを使用し、ヒートショック対策をしています。菖蒲湯やゆず湯等で季節感も味わって頂いています。プライバシーに配慮し、脱衣所に仕切りカーテンを設置しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室で横になったり、ソファでくつろげる様支援しています。夜間も安眠出来るよう、日中の活動にも気を配り、リネン、照明、温度、湿度の調節をこまめに行い、見守りを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の服薬情報をファイルしてあり、職員は内容を掌握し、服薬時は二重の確認を行っています。症状の変化があった場合は、看護師及び医師に連絡するようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者個々の状態に合わせ、生活の中で役割を担って頂いています。また、散歩、レクリエーション、嗜好品、楽しみごと等の個々の希望を聞き入れ、実現するようにしています。ハンドベルやパッチワークも行っています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の希望に合わせ散歩、買物、図書館等へ出かけています。寒い季節は廊下でリハビリ歩行もしており、外食にも出かけています。特別な個々の希望外出は希望実現で対応しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	事務所で少額のお金を預かっており、必要品や希望の品を買えるようにしています。希望により、一緒に買物に行って、自分で支払う方もいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族の了解が得られれば、自由に電話や手紙のやり取りが出来るよう支援しています。携帯電話を所有し、使用している利用者もいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は木の温もりがあり、明るく、バリアフリーや手すりにより安全性を確保しています。リビングは床暖房、エアコン、加湿器等の設備で快適であり、写真や季節の品々を飾っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間のソファや玄関前の椅子、外のベンチ等で気の合った者同士過ごしています。また、1～2階のユニット間の出入りは自由に出来るようになっており、利用者同士友好を深めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の表示は分かり易く工夫されており、洗面台、カーテン、キャビネット、エアコン等整備されています。利用者は、仏壇、テレビ、整理ダンス、机、椅子、ラジオ、写真、植木、小物等を持ち込み、その方らしい居心地の良い部屋にしています。		

55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>内部はバリアフリーで、利用者の状態に合わせて住環境の見直しを行っています。最近では、脱衣所の仕切りカーテンの導入、分かり易い掲示物の導入を行っています。</p>		
----	--	---	---	--	--

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームあいち

作成日 H28年6月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	入居者が重度化した際、看取りは協力病院へ依頼しており、最近重度化対応の研修を行っていない。	利用者の急変時に備え、重度化対応の研修を行い、いつでも職員が対応できるようにする。	8月初旬の各ユニット会議で、協力病院の看護師を迎え、重度化対応の研修を行う。	約2ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。